

授業科目名・形態	看護過程論	演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	黒澤 繭子・小畑 千春		実務経験の有無	有	開講期	2年前期・後期

【授業の主題】

看護過程は、様々な対象の、様々なニーズに対応し、その人らしく生活できるように支援するための目的や機能を持った看護を具体的に実践するための手段・方法論である。この授業では、効果的な看護活動を展開するための系統的な問題解決技法である看護過程を展開する方法を学ぶ。

【到達目標】

1. 看護過程を展開するための基礎的な知識とその方法、一連の流れを理解できる
2. 紙上事例を用いた看護過程を展開し、情報収集から看護計画の立案までを行うことができる
3. 看護記録の方法を理解できる
4. ケーススタディを行うためのケースレポートが作成できる

【授業計画・内容】

第1回	看護過程とは(1) (黒沢、小畑)	第16回	計画立案(3) (黒沢)
第2回	看護過程とは(2) (黒沢)	第17回	実施・評価・修正 (黒沢)
第3回	看護過程の概要と構造(1) (黒沢)	第18回	電子カルテシステムとクリティカルパス 看護記録とは (黒沢)
第4回	看護過程の概要と構造(2) (黒沢)	第19回	計画立案(4) 事例演習 (黒沢)
第5回	看護過程の概要と構造(3) (黒沢)	第20回	看護記録の概要 (小畑)
第6回	情報収集(アセスメント) (黒沢)	第21回	ケーススタディを行うためのケースレポートの書き方 (黒沢)
第7回	ゴートンの機能的健康パターン (黒沢)	第22回	看護過程の評価 ケースレポート作成(1) (黒沢)
第8回	アセスメント 事例演習 (黒沢)	第23回	ケースレポート作成(2) (黒沢)
第9回	看護診断・共同問題 (黒沢)	第24回	ケースレポート作成(3) (黒沢)
第10回	情報の解釈・判断 (黒沢)	第25回	ケースレポート発表・検討会(1)準備 (黒沢)
第11回	看護診断 事例演習 (黒沢)	第26回	ケースレポート発表・検討会(2)準備 (黒沢)
第12回	全体像の把握・関連図 (黒沢)	第27回	看護記録(1) (小畑)
第13回	関連図 事例演習 (黒沢)	第28回	看護記録(2)・看護必要度とは (小畑)
第14回	計画立案(1) (黒沢)	第29回	ケースレポート発表・検討会(3)発表 (黒沢、小畑)
第15回	計画立案(2) (黒沢)	第30回	ケースレポート発表・検討会(4)発表 (黒沢、小畑)

【授業実施方法】 講義・演習

【授業準備】

授業で配布する資料や教科書で復習し、理解を深めてください。事例演習では下記の参考文献をはじめ、様々な図書を参考にしてください。

【主な関連する科目】

看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習Ⅰ・Ⅱ、各看護学方法論

【教科書等】

石川ふみよ編著：看護過程の解体新書 第1版、学研、2015
 リンダ J.カルピエートモイ著、黒江ゆり子監訳：看護診断ハンドブック 第11版、医学書院、2018
 山口瑞穂子、関口恵子監修：経過がみえる疾患別病態関連マップ 第2版、学研、2016

【参考文献】

リンダ・アルファロワイガー著、本郷久美子監訳：基本から学ぶ看護過程と看護診断 第7版、医学書院
 井上智子、佐藤千史編：緊急度・重症度からみた症状別看護過程+病態関連図 第2版、医学書院
 阿部俊子監修：エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図、中央法規

【成績評価方法】

定期試験 40%、ケースレポート 40%、課題提出 10%、授業態度 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院での臨床看護の経験がある。看護の基礎として重要な知識や技術を習得する上で、具体例など交えることで応用できる考え方を促していきたい。

【学生へのメッセージ】

看護過程は看護実践を効果的に行っていくために必須となります。この授業で学んだことを基礎とし、ほぼすべての臨床実習でこの方法を用いた看護展開を行っていきます。